

週報

令和 5 年 4 月 21 日
2022~2023年度 No.32

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

プログラム

S A A 有川 真史君

- ☆点 鐘
- ☆委員会報告
 - ①親睦委員会
 - ・スマイルボックス報告
- ☆ロータリーソング斉唱
- ☆部内卓話
- 「それでこそロータリー」
- ☆戸田 博之君
- ☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会
- ☆点 鐘
- ☆食事懇談
- ☆会長の時間
- ☆幹事報告

現在会員					前々回の欠席者(4/7)					3名		
本日	出席 16名	欠席 7名	免除(a)欠席 3名	免除(b)欠席 3名	出席率	69.57%						
前々回	出席 17名	MU 3名	免除(a)MU 3名	免除(b)MU 3名	修正出席率	86.96%						
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
	75.55	81.16	83.53	77.58	89.84	89.31	87.32	93.48	95.83			
	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74	70.51	77.60

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 才 津 喜 彦
副 会 長 中 村 吉 廣
幹 事 西 上 裕 一郎
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

会長の時間

臨時代理 山下 克己君

皆様、こんにちは。

本日は会長、副会長のお二人が、共に所用のため欠席されるとのことで、会長代理を務めさせていただくことになりました。2回もこのような機会に恵まれて、大変光栄なことで喜んでおります。よろしく願いいたします。

さて、1年中で最も過ごしやすく心地よい季節となりました。目に青葉、山ホトトギス、初ガツオという句があります。ことに、目が覚めるような青葉に包まれるとき、「晴耕雨読」という言葉を思い出しております。

私は若い時から仕事以外の趣味と言えば、唯一、読書だけということできましたので、歳をとってからはゆっくりと本を読んで過ごしたいと思ってきました。

今やその時になっておりますが、つくづく人生とは思うようにならないものです。何より先に目が痛くなって、次に頭の回転が止まってしまう。まったく情けない話ですが、長続きしません。1時間どころか、30分も持たない状態です。おまけに、記憶力の方もさっぱりです。読みながら、後に戻って確認することが再々で、ちっとも前に進みません。

そこで、10年ほど前から家庭菜園を始めました。ちょうど、このロータリークラブに入会させてもらう少し前の頃です。どちらも私にとって、たいへん楽しいものであり、また、意義のあるものと思っています。

畑は、何より除草草取りです。雑草がはびこると作物の成長が止まってしまう。草取りを終えると、途端にその成長が目に見えるくらいに驚くほど一気に大きくなります。ですから、少々腰に来ますが、草取りを頑張ります。時間と手間のかかる作業ですが、無心に草取りをしていると時間が過ぎ去るのも忘れてしまうほどです。野菜の成長を眺めたり、感じたりするとき、それ自体は当たり前のことですが、自然の摂理をまた一つ理解したようで、なんとなく楽しくて嬉しいような気持ちになります。

話は変わりますが、このロータリークラブの例会もしかりで、毎回楽しい話を聞かせていただいて誠にありがたいことです。一週間に一度の例会が待ち遠しくなります。ことに、この年になって若人たちが語り合う機会に恵まれたことには

望外のよろこびを感じています。できることなら、福江ロータリークラブの会員として人生を終えたいと願っています。

何によらず、経験できるその機会があるというのは有り難いことです。うまくできないことのほうが多いと思います。しかし、そのような貴重な体験も、自分一人ではできないことが大半だと思います。その体験をさせてくれる人があって、初めてできるものです。その貴重な体験の機会を与えてくれた皆さまに心より感謝しながら、会長代理の時間を終わります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

少々長くなりましたが、ご清聴誠にありがとうございました。

幹事報告

幹事 西上裕一郎君

【当クラブ関係】

○例会休会のお知らせ

- ・次週4月28日(金)とその翌週5月5日(金)は、クラブ定款第7条第1節(d)項(1)により例会休会。よって、次の例会は5月12日(金)12時30分からです。

○クールビズ期間について

- ・5月よりクールビズ期間に入ります。(次回例会5月12日(金)より)

【地区関係】

○大村北RCより

- ・例会場変更のお知らせ

【地区以外ロータリークラブ関係】

○福江中央RCより

- ・週報第26号

委員会報告

出席報告

- ◆4月21日(免除(a)欠席者)
中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君
- ◆4月21日(免除(b)欠席者)
谷川 和啓君 佐々野邦久君 清瀧 誠司君
- ◆4月21日欠席者
片山 雅文君 小畑 和男君 中村 吉廣君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇戸田 博之君 本日の卓話、ご清聴よろしくお
願います。
- ◇西上裕一郎君 戸田博之さん、卓話よろしくお
願います。
- ◇吉田 泰之君 ”
- ◇張本 民雄君 ”
- ◇柳田 靖夫君 ”
- ◇山里 一郎君 ”
- ◇平村 和弘君 ”
- ◇松岡 孝博君 ”
- ◇神之浦文彦君 ”
- ◇山下 克己君 ”
- ◇橋本 武敏君 ”
- ◇宮本 光藏君 ”
- ◇寺澤 信義君 ”
- ◇有川 真史君 ”
- ◇藤川 博士君 ”
- ◇中村 栄治君 早 退。

合計 16,000円

通算合計 633,000円

部 内 卓 話

戸田 博之君



皆さんこんにちは。久しぶりに卓話をさせていただきます。ちょうど1ヶ月前、アメリカでWBCのメキシコ戦に勝利し、次の日はアメリカ戦に勝利して、日本が優勝しました。経過は皆さん知っているのですが、大変素晴らしい試合でした。3月21日の夜の報道ステーションの最後に、大越キャスターが「明日は野球の歴史上、最高の選手が集まり、最高の試合が行われるのは間

違いありません」と番組を締めくくりました。私なりに解釈すると、どちらが勝っても素晴らしい試合ではないのでしょうか？と言いたかったのかなと思いました。結果、その通りになりました。

数日後、いつもの仲間と飲食をしながら、WBCの話題に花を咲かせて、それぞれが自分の思いを語っていました。ある人は「今までの野球に対する考えが変わった」とか、「あの場面はこうだよね」とか「ああだよね」とか、思い思いに熱く語ってました。私も20歳ぐらいから約45年間、日本の巨人軍を中心によくプロ野球を観てました。球場での観戦も何度も行き、それなりに思い出はたくさんあります。もちろん私は今回のWBCを観て、勝ったその瞬間は大喜びしましたが、すぐに冷静になりました。それは、私の生きている間に大谷選手をテレビの中でも観れたと言う事です。おそらく未来は分かりませんが、そう簡単に同じ様な選手は現れないのではないのかと思っています。本当に素直に嬉しかったです。今後たくさんさんの記録を残して、素晴らしいプレーヤーになってもらいたいと思いますし、そうなることを確信しています。ただ、ケガだけは十分に注意してもらいたいと思います。また、この大谷選手をはじめ、日本には素晴らしいスポーツ選手がたくさんいます。

まず先日、神之浦君が話した井上尚弥選手です。今まで世界のプロボクシングの選手の中でも階級を考慮しないで、歴代ベスト10かベスト3と言っても過言ではないかもしれません。とにかく強い、そしてうまい、ドネア選手から右目の下を切られて何針か縫ってますが、顔が綺麗という事はあまり打たれていないと言う事です。

今から55年前、私が10歳の時にファイティング原田選手がいました。その時は世界に2団体8階級しかなかったもので、単純に世界チャンピオンは16人しかいませんでした。その中で原田選手は、フライ級とバンタム級のチャンピオンになりました。これも素晴らしい事だったのですが、今の井上選手はたぶんそれも超越したのではと思います。さらに、よくバラエティに出る具志堅用高さんの13度連続防衛も素晴らしい記録ですが、やはり井上選手が凄いです。今後は階級をあげてのスーパーバンタム級の4団体統一に期待しています。ちなみに先日、神之浦君が言っていました、輪島功一と柳済斗の試合は1975年2月17日で、私が17歳の高校2年生の時でした。私が、プロボクシングのファンになったきっかけになった試合でした。見事に14ラウンドKOで輪島選手がチャン

ピオンになりました。たいへん熱くなったのを覚えています。

次に、羽生結弦選手です。この選手も今更説明する事もないのですが、日本のみならず世界のプロスケーターの憧れの選手になった事がさらにすごい事と思いました。特に、ロシアの女子選手はブルシェンコ選手よりも羽生選手と言う事です。この選手も顔、スタイル、性格、技術力すべてにおいて素晴らしい選手と思います。

最後はスポーツ選手ではありませんが、将棋の藤井聡太六冠です。21歳で、もう天才としか言いようがありません。年内に八冠を狙っているとの事ですが、たぶん実現するのではないのかなと思っています。

さて、大谷選手、井上選手、羽生さん、藤井さんの4人を簡単に話しましたが、この中で今現在MAXなのは大谷選手だと思います。年収85億とか凄すぎます。しかし、たぶん大谷選手はあと12年ぐらいで40歳、井上選手はあと4~5年で35歳、羽生さんはプロを引退しているので、あと22年で50歳ぐらいかもしれません。たぶん、一番現役で活躍出来るのは藤井君ではないのでしょうか？あと49年で70歳ですので、49年後、私はもうこの世にはいないのですが、彼が70歳の時にどのような歴史を残しているのか未来を見てみたいような気がします。

以上、4人の話をしましたが、この中で90歳を過ぎた私の母の一番のファンは藤井君です。毎度、毎度、結果の速報を私に聞いてくるので大変くたびれますが、熱烈な藤井ファンになって、私を前にして「こんな息子がいたらなぁ」とか言ったので、私から「孫じゃろもん」と言い返されても平然としています。次に母が好きなのは羽生さんです。ずっと羽生ファンでしたが、今は藤井君に変えてみたいのです。大谷選手の凄さを認めつつも、藤井君が一番のようです。90歳でこんなに熱くなるのは母もまだまだ元気なのかなと思い、嬉しくもあるのですが、いろいろ面倒を言うので困った事も多々あり、今後どうなるのかなと少し考えたりしています。

口癖は、「私はもう長くない、もうだんだんよ」とか言うので、私が「寿命がある間はしっかり生きてみたら？」と言うと、「ああ、そうやね」とか言っています。きっと、あと数年は大丈夫かなと思っています。

さてさて、卓話のお題は何でも良いとの事だったのですが、私が何を言いたいのか？何を話したかったのか？書いている自分が分からなくなってきま

した。別に母の話をしたかったわけでもなく、4人の日本の男性の話をしたかったわけではなかったのですが、このような話になりました。

3年以上続いているコロナ禍の中で、7億人弱が感染し、700万人弱が死亡しています。世界が重いおもしろを背負っている時に、大谷選手のような世界の人々が夢と希望を持てる人がいるという事は大変素晴らしい事で、それが日本人である事は大変誇らしく思えます。まだまだ油断は出来ませんが、短いようで長い3年間でした。今、地球が環境問題を含め病んでいます。地球はいつかは滅びるのでしょうか。しかし、少しでも長生きさせたいと思うのは、私が90過ぎた母に少しでも思うのと何ら変わりはないのかもしれない。多分私も順調にいけば、あと20年ぐらいでしょうが、少しは日々を噛みしめて生きていきたいと思いません。

さて、少し話は変わりますが「病んでいる」と言う言葉を利用して、私も日本中央競馬会の信者になりました。かなりのお布施をしています。少しは取り返せるかとは思っていますが、さらに頑張らないといけないと思っています。病と言いたいのは性格の問題です。過去の私はギャンブルは結構強気でしたが、いざ馬券を決める時になるとやはり人気のある方に傾いて、結局、後で後悔する事が多々あります。どうせ負けるなら倍率の高い方が良いと思います。競馬ファンの方が「戸田さん、どうせやるなら3連単ですよ、WIN5ですよ」と優しい秋波を送ってくるので、ついつい波に乗ってしまったのですが、なかなかうまく乗りきれません。しかし、自分の性格を改めて確認出来ましたし、検討する時の時間帯はすごく楽しい気持ちにさせてもらいました。その意味では、大変感謝しています。

これが俗に言う「ハマる」と言う事だと思います。人は良いモノにははまってもいいとは思いますが、危険なモノにははまらないようにしてもらいたいと思います。ちなみに中洲ファン、銅座ファンもあって、中には熱烈なファンの方もおられると思いますが、お酒でケガをする事もあり、余分なお金を使う事もあるので十分に気を付けてもらいたいと思います。

ちなみに、会長の時間にも私に対してなのかどうか分かりませんが、ささやきかけてくる会長がいますけど、たぶん一般的な事だと思いついて聞いています。

しかしながら4月16日(日)は、初めてのWIN5が当たりました。お陰様かどうかは判定しにく

い所ですが、感謝しております。

皆様におかれましても、ギャンブルはほどほどに…と 부탁드립니다。

私は馬券の坎は悪いのですが、けっこう今まで坎が当たった事がありました。そこであえて、大変不吉な事を言いますが、ここ1～2年で、東アジア有事があるのではないかと感じてます。全く嫌な事なので、坎が外れる事を祈りますが、隣の大国の指導者、ロシアの大統領、北の將軍様など、特にこの3名は異常さを感じる人々達です。

例えば、日本の東日本大震災では死者・行方不明者、約2万人。最近のトルコ・シリア大地震では、死者・行方不明者、約5万人と大惨事ではあったのですが、これは自然現象なので、亡くなった方々には大変申し訳ありませんが、仕方なかったのかもしれないと思います。しかし、プーチン大統領はロシア人とウクライナ人、合わせて約2万人ぐらいの戦死者を出し、どちらが勝っても東ウクライナの現状は悲惨な状況になっています。それなのに知らぬ顔して、堂々と記者会見とかして自分の正当性を訴えています。「人の命は地球より重い」と言った人がいましたが、あまりにも生命を軽視しているとしか思えません。2万人も死者を出した人が普通にしているのを見ると、もはやあの方は常軌を逸していると思えます。

このような人が世界を変えるのであれば、とんでもない事で、隣の国が台湾に侵攻して大きな戦いがあったとすれば、今のところはウクライナは対岸の火事程度ですが、台湾有事は対岸の火事ではなく、間違いなく日本も巻き込まれて大変な事になります。この時、日本はどうなるのでしょうか？ある程度、日本政府は予測はしていても、全く予想出来ない状態だと思います。さらに、北の將軍様は相変わらず自国民に食料をしっかりと与えればいいのに、ミサイルばかりに金とエネルギーを使い客観的に見て哀れさを感じます。この方も常軌を逸していると思えます。

さて、ここで考えたいのはアメリカという大国です。3人の尋常でない支配者に対抗するNo.1の国ではあるのですが、この国もある意味、難しい国であります。アメリカは、ここ数十年の世界の紛争に全て出張っています。自国は貿易センタービルを2棟やられただけで、アメリカ本土はほとんど無傷なのに他国では戦うので身勝手さを感じます。私はアメリカの芸術、文化、スポーツ等、大好きなのですが、国の政策方針はあまり好きではありません。色々アメリカ政府も言いますが、結局は戦争ビジネスをしていて、とにかく世界の

警察と自負するのであれば、武器の輸出はやめるべきではないのでしょうか？しかし、日本はどうしてもアメリカに頼らざらなければなりません。3国に対応するにはアメリカとEUの国々の協力なくして、今後の日本の立場は苦しくなると思います。多分、ロシアは半永久的に北方四島は返さないと思うし、中国は尖閣諸島を取りに来るでしょうし、北朝鮮はそのうち核ミサイルを準備して、脅しを続けるでしょうし、ついでに日本とは仲間であるはずの韓国と相変わらずギクシャクして竹島は取られればなしです。私は、今の日本の政治の有り様を批判しているわけではありませんが、今後どうするのでしょうか？

朝まで生テレビで「どうする日本」とかよく題材に使ってますし、NHK大河ドラマも毎週「どうする、どうする」と言っています。

戦後78年経ちました。20代の若者が元総理、現総理を襲うような国に日本もなっています。何か対応はあるのでしょうか？国民全員とは言いませんが、全体的に考えを先送りする傾向が日本国民全体にあります。「じゃどうすればよいのですか？」と尋ねられても、私一人ではこのように思いを語るだけで何も変える事は出来ません。

まだ完全ではありませんが、3年間世界を苦しめたコロナウイルスが収束しそうにあります。これも隣の国が発祥地なのですが、全く反省してませんし、相変わらず強気な事ばかりです。さらに、もうひとつの大国インドも独立独歩の動きがあり、なかなか世界統一とはならないような気がします。

ここまで世界の現状を私なりに話しましたが、では私は何を言いたいのかというと、今後全く先が見えないと言う事です。それに対して、残念ながら明確な意見は持っていません。ある意味、各国やその代表者達が自由に自分の思うままの政治や動きを始めたので、とりとめのない世界になっていったのではないのでしょうか？ただただ、今後、世界のどこかで核爆弾が破裂しない事を祈って、世界が良い方向に向かう事を祈り、話を終わりたいと思います。